

# e-kensinマップのご案内



# 建築・不動産ニュースを時系列で表示 土地情報と重ねて新たな発見を

The screenshot displays a web application interface. On the left, there is a navigation menu with options like '地図' (Map), '情報' (Information), and 'プラス' (Plus). Below this, there are sections for '地番検索' (Land Number Search) and 'ニュース' (News) with various filters. The main area shows a satellite map of Sapporo with several purple location pins. On the right, a '記事一覧' (News List) shows a series of news items with dates and titles. A detailed news article is shown in a pop-up window at the bottom right, featuring the 'kensin PLUS' logo and the title '札幌駅交流拠点再開準備組合が秋にも基本計画を策定へ' (Sapporo Station Exchange Hub Revival Preparation Committee Finalizes Basic Plan for Autumn).

## 時空間の伝達メディア

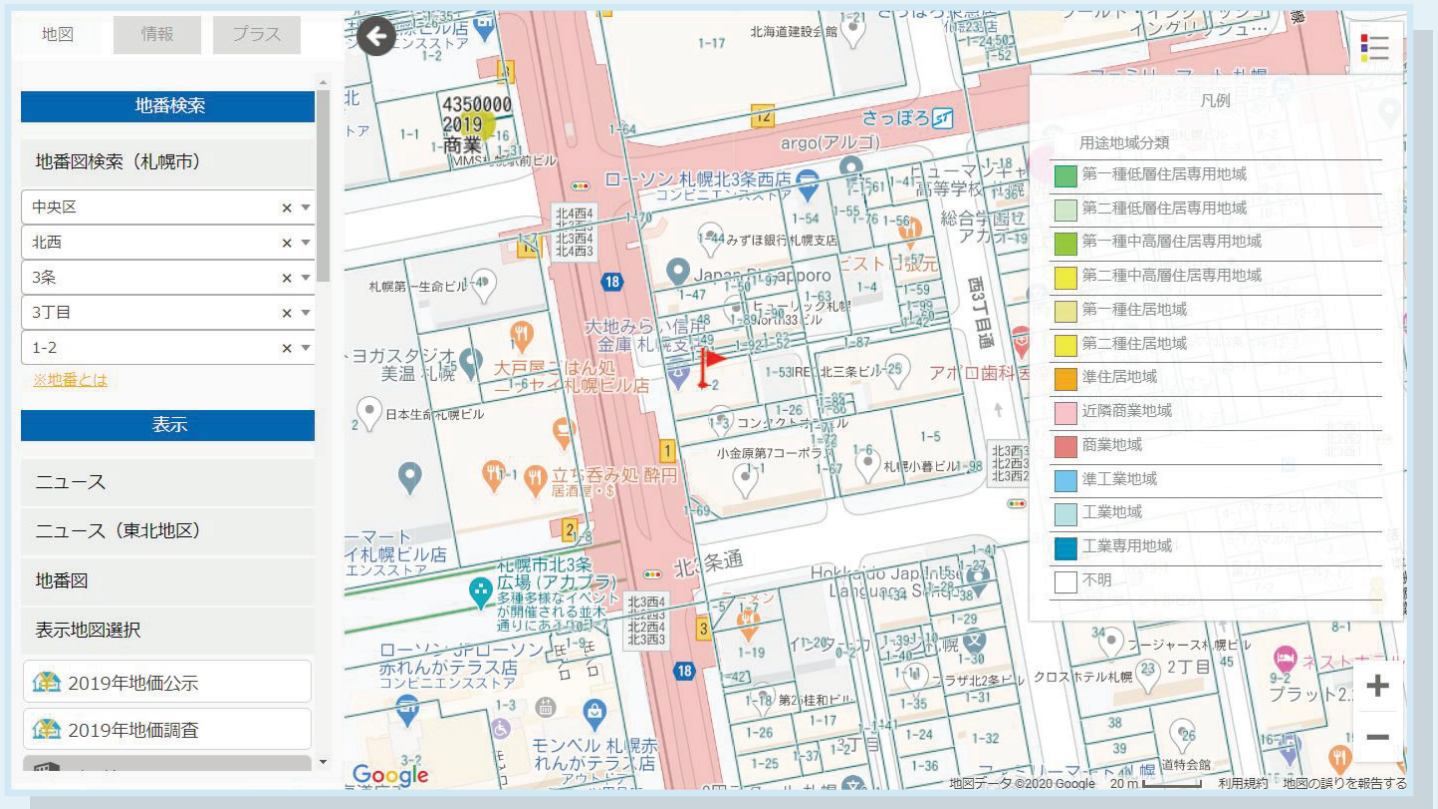
日々のニュースに都市計画や土地価格、地番や現況道路図、航空写真など、公開されている各種の情報を重ねて「見える化」しました。時系列で並んだニュースは、その土地や建物の時空間情報を伝える、メディアの新しい形と考えています。



## 建築・不動産ニュースを毎日追加!

北海道建設新聞に掲載した建築・不動産関連のニュースを毎日追加していきます。地図上に表示することで位置関係や距離感を把握できる新しいメディアです。

# 土地利用情報の取得を支援 地番や地価など複数情報にアクセス



## 地番や土地利用を手軽に把握

道内主要都市やニセコ地区など開発が活発なエリアは、ニュースとともに地番図や土地の取引価格など各種情報を掲載。手軽に多くの情報を集めることが可能です。

## 地番図検索機能

有料情報サービスの「e-kensinプラス」には、地番の検索機能を備えています。知りたい場所を簡単に検索でき、周囲の情報やニュースを手早く取得できます。



## 地番図の掲載エリアは拡大中!

地番図の掲載都市は札幌市、函館市、帯広市、釧路市など道内主要都市をはじめ、札幌近郊、ニセコ地区など道内13自治体を掲載しています。行政のオープンデータ化の推進を背景に掲載対象はさらに拡大する予定です。



# 1970年代からの大型建築物情報 ニュースと合わせて情報量アップ



## 建築ストックを掲載開始

当社が取材を蓄積してきた建築ストック情報を電子地図上に掲載しました。建物の完成時期、設計や施工者など建物に関わる情報を周囲の状況と合わせ感覚的に閲覧できます。ニュースとともに見れば、その土地の開発の流れが見えてきます。

## 建築確認申請データも掲載へ

建築確認の記事は、順次、電子地図上に掲載する予定です。



## 新しい建物も順次掲載予定!

建築ストックは新たな着工物件も随時掲載します。  
使い続けるほどに価値を増すコンテンツです。

# 北海道の未来をGISで応援 場所の「情報」を地図で「見える化」

Googleマップの普及により、Webを使ったGIS（地理情報システム）は利用しやすい環境が整ってきました。北海道建設新聞社は、日本不動産研究所と建設や不動産などのまちづくり情報を、インターネットを通じて電子地図上に展開するWeb-GIS「e-kensinマップ」を開発しました。

北海道建設新聞の読者は建設会社、不動産業、住宅産業などで、その多くが地図と密接な仕事を営んでいます。GISは、こうした社会基盤やまちづくりを支える人たちに、場所に関する情報を「見える化」し、分かりやすく効果的に伝えます。

北海道新幹線の札幌延伸に向け、再開発で変わりゆく札幌都心の風景など、まちづくり情報は多くの人々が関心を抱くところです。「e-kensinマップ」を使い、付加価値の高い情報を発信していくことで、地域の未来づくりに貢献したいと考えています。

## GIS（ジーアイエス）

Geographic Information Systemの略で地理情報システムと訳されます。地理情報、地理に関連する情報をコンピューター地図上で見える化して、分かりやすく伝達することがGISの大きな役割です。

## Googleマップ

場所の検索などスマホで使うGoogleマップもGISの一種です。私たちの「e-kensinマップ」は、一般に普及したGoogleマップをベースに開発しています。情報を見える化することで、周辺の関係性の把握や分析、評価がしやすくなります。

e-kensinマップをご利用になるには、  
e-kensinプラスへの**ご加入**が必要です

e-kensinプラス料金表 (すべて税込み)

	購読者	非購読者
会費 (月額)	3,300円	14,000円
事務手数料(※)	11,000円	11,000円

※ 加入時のみ



お問い合わせは、電話またはe-kensinプラス「入会のご案内」へ 



**0120-307-892**



**株式会社 北海道建設新聞社**

〒060-0004 札幌市中央区北4条西19丁目1番地11

☎011-611-6311 (代表) 011-611-6315 (編集) FAX011-621-2913 (営業) 011-640-2625 (編集)